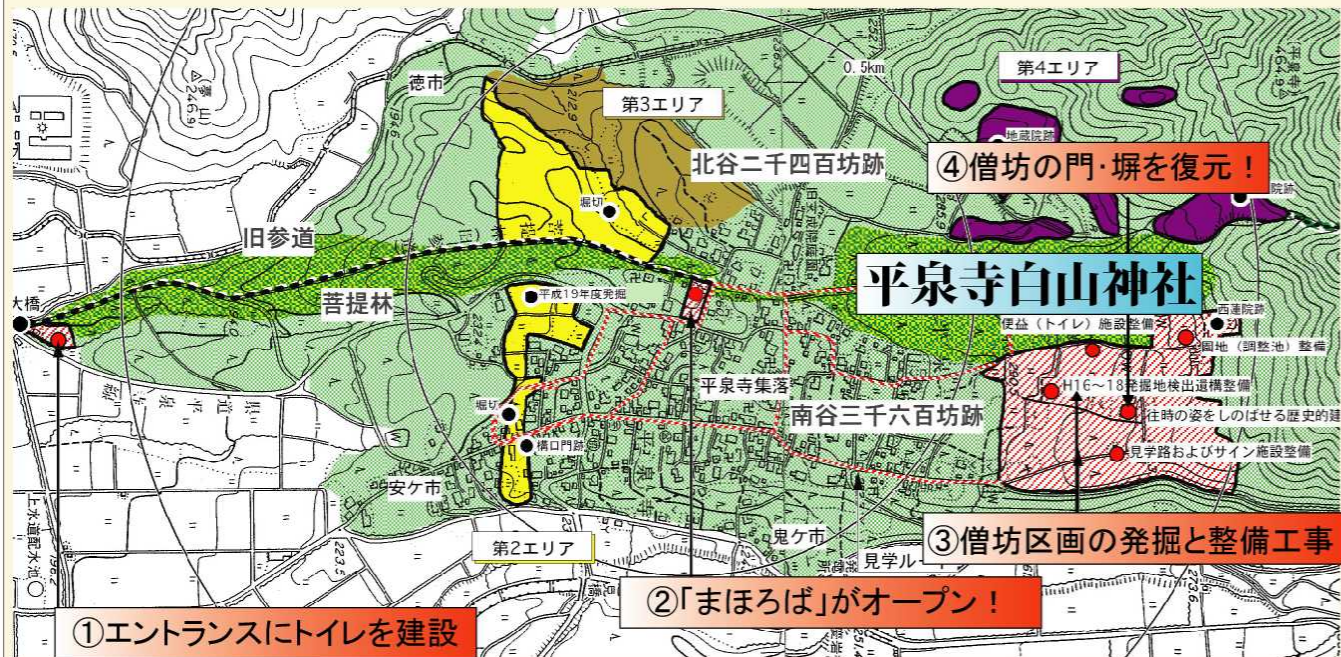


平泉寺総合整備最前線！～発掘・整備2012～

平泉寺の発掘調査と整備工事は、5年計画の最終年を迎えました。発掘調査を継続実施し、整備工事を中心に事業の総仕上げを行っていきます。

そこで、今回は今年度の主な整備工事や発掘調査について紹介します。



① エントランスにトイレを建設

下馬大橋付近の見学広場には、景観に配慮し休憩所も兼ねたトイレを建設します。



② 「まほろば」がオープン！

白山平泉寺歴史探遊館「まほろば」は、10月6日（土）にオープン予定です。



③ 僧坊区画の発掘と整備工事

発掘調査を行ってきた僧坊の石垣を直したり、芝生をはったりして、見学しやすくします。



④ 僧坊の門・塀を復元！

現在、復元工事を行っている僧坊の門と塀が完成します。



国史跡平泉寺の整備情報誌

平泉寺かわら版



No. 43 (2012年4月号)

【発行】
勝山市教育委員会史蹟整備課
【発行日】
平成24年4月26日
【ご意見・ご要望は下記まで】
電話：0779-88-8113(直通)
メール：shiseki@city.katsuyama.lg.jp

今号の内容【特集】



ユネスコ前事務局長
松浦晃一郎氏講演会
& 平泉寺大門市オープン！



総合整備最前線！
発掘・整備2012



4月22日早朝に行われた春の一斉清掃には、悪天候の中、平泉寺区民約120名、一般ボランティア27名、市役所ボランティア30名が参加しました。

今年は雪が多く残り、例年よりも一週間遅くなりましたが、多くの方が協力し、境内から下馬大橋までの範囲にわたって落葉を取り除きました。

勝山市では、

白山平泉寺を世界遺産に登録する活動

を行っています。

その一環として、4月17日（火）に

ユネスコ前事務局長の松浦晃一郎先生

をお招きして、平泉寺の世界遺産登録についてご講演をいただきました。



ユネスコは、国連の機関で世界遺産への登録を決定しています。松浦先生は、アジア人としてはじめて、ユネスコのトップである事務局長を10年間つとめられました。



講演される松浦先生

松浦先生は「**世界遺産は人類全体の宝であり、次世代に引き継いでいくもの**」と紹介し、平泉寺を含む「**霊峰白山と山麓の文化的景観**」についてアドバイスをくださいました。

白山の場合、まず日本のなかで価値を認めてもらい、日本政府の世界遺産候補地を記した「**暫定リスト**」に載せられるように、提案の内容を練り直す必要があります。

世界遺産とは・・・

ユネスコの世界遺産条約にもとづいて登録された、人類にとって共通の宝物です。世界遺産は、文化遺産、自然遺産、複合遺産の3つに分けられています。

平泉寺を含む「**霊峰白山と山麓の文化的景観**」は、文化遺産を目指しています。

世界遺産

文化遺産

すぐれた普遍的価値をもつ記念工作物、建造物群、遺跡。

自然遺産

鑑賞・学術・保存上顕著な普遍的価値を有する地形、生物、景観。

複合遺産

文化遺産と自然遺産の両方の価値を兼ね備えている遺産。

白山・平泉寺の世界遺産へのヒント

1. 白山や勝山の自然は素晴らしいので、白山には自然遺産としての側面もある。
 2. 現在、白山は文化遺産として提案している。今後、自然も組み入れて複合遺産として提案するか、文化遺産として提案する場合でも構成資産を吟味すること。
 3. 複合遺産は審査が大変厳しいので、文化遺産と複合遺産のどちらの提案が良いかは専門家の意見を聞くこと。
 4. 3県6市1村にまたがる白山全体の保全計画をつくる必要がある。
 5. 類似する紀伊山地や富士山との比較から、白山の独自性を示すことが必要。
- といった点に注意して進めて欲しいとのことでした。

そして、

「白山平泉寺は世界遺産を目指すうえで良い構成資産になる」

「行政主導だけではなく、地域の人々が参画して活動して欲しい」

と勝山市へのエールもいただきました。

山岸市長との対談

講演後の山岸市長との対談では、勝山の環境教育を高く評価し、ユネスコクラブやユネスコスクールといった制度を紹介いただきました。

市長からは、勝山市の進めてきたエコミュージアムの延長線上に世界遺産を見据えて息長く取り組んでいきたいとの意見が出されました。



山岸市長との対談

大門市オープン!

4月20日に大門市の市開きが行われました。

平泉寺地区で収穫された新鮮な野菜のほか、シメジやシイタケなどがたくさん並べられています。

平泉寺を訪れたら、ぜひ大門市をのぞいてみてください。地元のおばちゃんとの楽しい話にあっという間に時間が過ぎるかも。

